

新年度がスタートし1か月が経ちました。お子さんの様子はいかかでしょうか。初めての集団生活の子も、進級した子も、そろそろ疲れが出てくる頃だと構えていてちょうどよいかもしれません。季節の変わり目で寒暖差が大きく、暑い日は熱中症予防の対策も必要です。子どもからの「いつもとなんとなく違う」をキャッチし体調管理をしましょう。



りんご病の発生が続いています

4月よりりんご病の発生が続いています。

りんご病は、頬や腕などに特徴的な発疹が出る前に感染力のピークを迎えていて、保育園のように集団生活をしている施設では防ぎきれません。軽い鼻かぜ症状から高熱まで症状は様々です。

発疹が出た段階で医療機関を受診し、登園が可能か医師に診断してもらう必要があります。



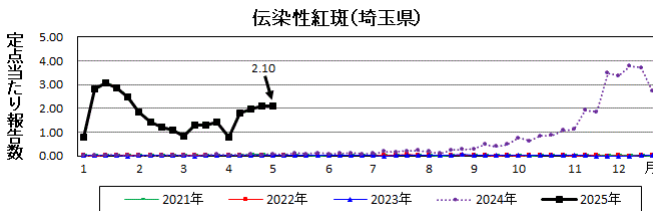
りんご病は、学校保健安全法第三種感染症です。登園確認書の提出が必要です。（保護者記載）

*登園前に普段と違う発疹や赤みを確認したら、医療機関を受診し、医師の指示のもと登園をご検討ください。

*保育中に発疹や赤みを確認したら、保護者の方へご連絡しますので医療機関に受診し登園可能か診断を受けてください。

*妊婦が感染すると流産の原因になることがあります。注意が必要とされています。

保育園は、常に妊婦さんが出入りしている環境です。ご理解とご協力をお願いします。

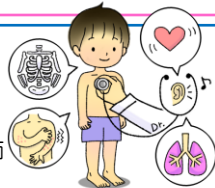


埼玉県全体で多く発生しており、川越市では警報発令寸前の増加が認められているそうです。

内科健診

5月26日(月) 9:30~

川越豊田町クリニック 東海林医師



欠席されますと、ご家庭で川越豊田町クリニックを受診していただく必要があります。

健診のみの登園も可能です。調整をお願いいたします。

*健診前に問診表を配布します。

医療機関へ行くほどではないけど、医師に聞いてみたいことなどがありましたらご記入ください。

歯科健診

6月2日(月) 10:00~

あんず歯科医院(入間市) 大久保歯科医師



欠席されますと、ご家庭でかかりつけ等の歯科医院を受診し、診察内容の報告をしていただく必要があります。

当日はしっかり歯みがきをしてから登園しましょう。



熱中症対策を始めましょう

「のどがかわいた」と感じた段階で、3%の脱水が起きています。これがのどが渇く前に水分補給をしましょうと言われる理由です。

夢中になると不快に感じる暑ささえ気にならなくなるのが子どもの特徴です。子どもにとっては楽しさの方が優先です。なので「のどが渇けば飲むでしょ」では対応が遅い場合も。一度にたくさん摂取しても予防効果は低く、こまめに摂取を続けることがとても大切です。

今から水分摂取の習慣をつけていきましょう。



保育園では、保育士からの声掛けで水分摂取をする他に、3歳以上の子どもたちは、飲みたいときに飲めるよう水筒を準備していただいています。

危険な暑さがすぐそこまで来ています。子どもたち自身も暑さから身を守る術を少しずつ習得していく必要がある時代です。保健指導でも段階的にお話を進めていきます。

